学校番号	1202

令和５年度　工業科（電子機械）

教科	工業 （機械）	科目	デザイン史	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	東京電機大学　デザイン史（文部科学省）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分たちの身の回りにある色々なものに興味を持ち、そのデザインがどう発想され、いま自分の目の前に存在しているかについて考えさせる。

2　学習の到達目標

人間が物を作り出してきた歴史を振り返り、それを学ぶことにより資質を高め、デザインのアイデアを生み出す手法を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	特にデザインを意識できるよう関心を持ち、改善・向上をめざして主体的に取り組んでいる。	デザインに関する思考を深め、基礎・基本的な知識と技術を適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	デザインに関する基礎的・基本的な歴史を学び、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用する知識を身につけている。	デザインに関する歴史の知識を身につけ、現代社会に求められている、ものづくりの役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 定期考査 出席、授業態度 プリント課題、ノート等から評価する	学習状況の観察 定期考査 出席、授業態度 プリント課題、ノート等から評価する	学習状況の観察 定期考査 出席、授業態度 プリント課題、ノート等から評価する	学習状況の観察 定期考査 出席、授業態度 プリント課題、ノート等から評価する

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	デザイン史	●デザイン史 デザイン史を学ぶ理由 デザイン史の対象と領域 造形の様式 地域と時代 これからのデザインを学ぶために	◎ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	○ ◎ ◎ ◎	a:歴史に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる b:造形様式の歴史について理解している c:地域の歴史を理解している d:デザインの経緯を理解している	学習状況の観察 定期考査 出席、授業態度 プリント課題、ノート等から評価する
2	日本	●日本 原始 古代（飛鳥時代、奈良時代、平安時代） 中世（鎌倉時代、室町時代） 近世（桃山時代、江戸時代） 近代（明治・大正時代、昭和時代前期	◎ 	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ◎	a:デザインに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる b: デザインに関する思考を深め、創造的な能力を身につけている。 c:環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し活用する知識を身につけている。 d: デザインに関する歴史の知識を身につけ、現代社会に求められている、ものづくりの役割を理解している。	
3	西洋	●原始 古代（オリエント、エーゲ海文明、ギリシャ、ローマ 中世	○ ○ 	◎ ○	○ ◎ 	○ ◎		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。